

大阪日々新聞

二百七十六号

飾磨縣下中村に住る田村龜吉
 成十二月十五日士族二名此家
 止宿す又商人一人隣の
 間止宿せり若干の
 金と主小預け安心
 して則り夜半に及び
 士族小ねがふ君の傍に
 息の隣家小あそびて夜あけて
 飯り商人の寐床
 是幸いとや
 かりる父の
 短刀持てあひ来り我子とつて
 喉を只一刀に通し片手陰囊を
 つりてあめくれば聲をもたげで
 あてがひ士族に此音はうすを
 立聞ぞ朝龜吉を縛りて
 其區の會議所へ送らる

柳櫻記

旅籠屋龜吉



大阪日々新聞276号 文庫10-8618-48

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library